令和２年度 学校経営構想

尾道市立因島南中学校

１　因島南中学校について

・平成２２年度　開校（土生中学校・三庄中学校・田熊中学校の３校が統合）開校１１年目
・平成２７年度　因島南小学校が開校（土生小学校・三庄小学校・田熊小学校の３校が統合）

２　尾道市について

・平成２９年度から、新たな「尾道教育総合推進計画」（５年間；Ｈ２９～Ｈ３３）実施
・「尾道教育総合推進計画」の学校教育関係；「尾道教育みらいプラン２」
・「尾道教育みらいプラン２」
『夢と志を抱き、グローバル社会を生き抜く子供の育成』
（「 よりグローバルに」、　「より深化を」、　「より社会に開く 」）

３　尾道市教育委員会からの『スクールミッション』（尾道市教育委員会として期待すること）

○ オール因島南で取り組む
「地域が誇る学校づくり」の実現

４　因島南中学校が目指すところ

【ミッション】（地域・社会における自校の使命・存在意義）

○　「地域が誇る学校づくり」
～ 地域からの期待に応え、期待を超える学校づくりを ～
＜コンセプト；地域の活力を，学校から発信（学校が地域を元気にする）＞

【ビジョン】（ミッションの追究を通して実現しようとする学校の将来像・目指す姿）

○　オール因島南(学校・家庭・地域)で，連携・協働し，生徒を育む学校
○　学校･地域(ふるさと)を誇り，自分の生き方を見つめ直すことに繋げる学校
○　常にスパイラル･アップを目指し，向上心を持ち，思いを実行に移せる学校

＜　学校の特色のキーワード　＞
○『ふるさと学』（ふるさとを見つめ，考え，自分の生き方を見つめ直す）
○『プラス・ワン』（今の自分をしっかり見つめ，常に，一歩上，半歩上を目指す）
（○『地域とともにある学校』（オール因島南で育て，学校も地域も元気にする）

【 スクール モットー （「校訓」に近いか） 】

○　心を磨き、体を鍛え、 世界をめざす
（校歌の歌詞に込められた「めざす姿」）
＜昨年度まで【ビジョン】として位置付け＞

【 生徒に育成したい資質・能力 】（今年度，再検討中；H30 年度のもの）

○　はがれ落ちない「基礎・基本」の力
○　思考力・表現力
○　高い志とチャレンジ精神

５　学校教育目標について

社会で通用する基礎・基本を磨き， **よりより自分，よりよい学校，よりよい社会を目指そうとする** **生徒の育成**

（昨年度の学校教育目標と同じ）

○目指すものは、教育基本法の「教育の目的」である**「人格の完成」**
（「生きる力」を　今の学校生活だけでなく、将来を見据えて子供達の未来に責任を持つ）

○**「社会で通用する基礎・基本を磨き」**
・義務教育の最終段階として，社会で通用する「基礎・基本」をしっかりと身につけさせ，新たなステージに立たせる責任がある
・社会で通用する「基礎・基本」とは
「学力」のみならず，「社会性」，「コミュニケーション力」，「人を思いやる心」，
「道徳性」，「規範意識」，「礼儀・マナー」，「向上心」，「健康」「体力・運動能力」など，
「学習面」「生活面」において、「生きてはたらく確かな力」の「基礎・基本」
⇒ 学校のみならず，家庭・地域と協働して，確実に身につけさせ，
更に磨く（プラス・ワン）教育を

＜育成したい資質・能力＞「はがれ落ちない「基礎・基本」の力」
（「思考力・表現力」（深く考える・しっかり表現する））

○**「よりよい自分，よりよい学校，よりよい社会を目指そうとする」**
・自分自身を見つめる　　学校を見つめる　　社会を見つめる
・自分にできることは何か　自分のすべきことは何か　そのために自分は…　を考える
・よりより自分をめざす　よりより学校をめざす　よりより社会をめざす
（⇒「プラス・ワン」を，どう「意識」させ，どう「実行」させるか）

◆**「よりよい自分を目指そうとする」**
・「まぁ，これぐらいでよし」ではなく，更によりよい自分を目指し，向上心を持って努力することを目指す。（主に「プラス・ワン」をしっかり自覚し，実行する生徒に）

◆**「よりよい学校を目指そうとする」**
・自分だけでなく，友達を大切にし，まわりを大切にしながら，話し合い，高め合い，自分達の学校を，まわりのみんなと力を合わせ，よりよい学校にすることを目指す。
（愛校心，誇りづくり）

◆**「よりよい社会を目指そうとする」**
・「ふるさと学」を中核に据えながら，自分達のふるさと因島を，よりよいものにしようと考え，提案していく（総合的な学習の時間「ふるさと学」等の充実）。
・ふるさと因島のみならず，広く社会に対しても目を向け，自分達でよりよい社会を築き上げようと，社会に貢献し，よりよい社会をみんなで力をあわせて作り出そうとする。

＜育成したい資質・能力＞「高い志とチャレンジ精神」
（「思考力・表現力」（深く考える・しっかり表現する））

【スクール・スローガン】

自ら起点となり，本気・誠実・心根　温かくあれ　そして　本物たれ ～Ｂｅ　ａｍｂｉｔｉｏｕｓ～

⇒「めざす生徒像」「めざす教職員像」へ

６　今年度，特に意識していくことについて

（１）「自分も起点」という位置に立ち，協働して取り組む！

○傍観者（批評家）にならない！課題を解決することに追われる組織の一員にならない。課題をシステムとして捉え自分もその問題に加担している（一部を担っている）という位置に立ち，自分のあり方（Ｂｅｉｎｇ）からその問題自体に変化を与える。

（２）生徒にとって学校生活の中心は授業！

○授業が最大の生徒指導の場というに認識を持ち，授業に生徒指導の三機能を（自己存在感・自己決定・共感的人間関係）生かす。

○そのために，授業改善・授業研究を進める。（授業のうまい教員に！）
※詳細は別途

（３）取組には，「なぜ？」と「ゴールイメージ」を持って！

○取組を行うことで，どんな力をつけたいのか？どのような姿を目指しているのかを明確にして取り組む。（その熱量が生徒に伝わる。）
（ただの前年度踏襲は×）

【前年度から引き続いて行うこと】

（１）生徒会活動を充実させるべく指導に臨む！

○「生徒会活動」が停滞・衰退すれば，「学校が沈む」という強い危機感を持って，生徒会活動に力を入れ，生徒達を指導し，育て，生徒の自治の力による活力ある学校を目指す！

（２）生徒指導は「総力戦」という意識を持って全員で臨む！

○ 「マンパワー」ではなく，「チーム力」「総力戦」の意識を持つ。
「あれはあの学年のこと」にではなく，いかに自分の学校のこととして捉え，自分事として動くかが重要となる。
それぞれの「持ち味」を活かし，全員で関わりきる！

（３）「“ 走る ”学校文化」の更なる充実

○ 陸上競技部を中心として，毎日の朝練習，放課後練習に加えて，生徒全員による「１０分間走」，小中合同による「１０分間走」など，学校に「“ 走る ”学校文化」が定着してきている。

　そして，市内中学校駅伝大会においても優勝するなど，ついに悲願を達成してきており，生徒にとっても，学校にとっても，地域・保護者にとっても「誇り」となってきている。

　今後も，生徒全員が，因島南中学校は「“ 走る ”学校文化」が根ざした学校という意識を持ち，陸上競技部だけでなく，その他の運動部，更には，吹奏楽部，文化部も含めた全校生徒が「走る」ということに高い意識を持ち，誇りに思える学校づくりを目指す！

【指導方針】

「鍛え」　「伸ばし」　そして　「心に寄り添う」　　指導を！

○　「指導」のないところに，生徒の成長はない！
　　生徒は，「指導」を待っている！
　　「粘り強く」; 100 回ダメなら 101 回やり返す！
　　「生徒は必ず成長する」と「信じる」！

○　生徒に，「本気」で「向き合う」！
　　生徒に，「本気」で「愛情」を傾ける（「甘やかす」ことでは決してない）
　　生徒の「思い」に，「心」に，「寄り添う」（「粘り強く」）
　　生徒のこれからの「人生の幸せ」を真剣に考える